

見守り活動が地域交流の場に

「みのが丘地区」ひとり暮らし高齢者への巡回訪問

巡回訪問と地域性

みのが丘地区町内会は、普段から住民同士での見守りに力を入れています。その取り組みのひとつとして、町内会婦人部のひとり暮らしの高齢者宅への巡回訪問を年3回行っています。訪問予定は町内会の「広報みのが丘」で地域の方にも知らせていて、活動があると認識することで地域内の支え合いにつなげていきます。

訪問先の方の話

みのが丘は車が通行できない場所が多くある地域です。

ひとり暮らしをしている方は「少し不自由な場所です」と暮らしているの、自分でやるべきことが多いです。それが生活に張り合いをもたせているのが長生きの理由ですかね。町内の方には普段



▲玄関先での短時間の対話が活動の中心。今の状況でもできる対話の機会をつくることを大切にしています

から気にかけてもらっているの、何かあったときは誰かに気付いてもらえるという安心感もあって、暮らしやすいですよ」と笑顔で話しました。

訪問する婦人部の話

婦人部長の池田さんは、「3〜4人で訪問し、みんなが笑顔になるような声かけを心がけています。訪問先の方のちょっとした世間話から、困りごとが無いかなどを気にかけています。私たちも暮らしの知恵や地域の歴史など、さまざまなお話を教わっていて、学びの機会もたくさんあります」と話しました。



▲一番左が池田さん
(撮影時のみマスクを外して撮影)

無理なく

できることを

巡回訪問は、地域の見守りネットワークのひとつでもあり、地域の暮らしを自然な形で伝えていく交流の場にもなっていました。婦人部の方は、「コロナ禍でひとり暮らしだと孤独になりやすいので、工夫と対策をしながら活動を続けていきたいと話しました。」

地域の見守り活動には、コロナ禍でもできる活動があります。この機会に皆さんの地区でもできる地域の見守り活動のアイデアを考えてみませんか。



生活支援コーディネーター
佐藤 亜由美さん

問 長寿社会課地域支援係

☎ 364-1204